

南山大学創立50周年記念基金事業
インドネシア影絵芝居 **ワヤン公演**



マハーバーラタより きょうえん
「アルジュノの饗宴」

2010年3月27日(土)

午後2時～午後4時(開場 午後1時30分)
午後1時40分より歓迎のガムラン演奏が始まります。
南山大学名古屋キャンパス G30教室

主催 南山大学 南山エクステンション・カレッジ
アジア・太平洋研究センター
協力 南山大学 外国語学部アジア学科

マハーバーラタより
「アルジュノの饗宴」

オリジナル:キ・スティノ

訳・解説:松本亮(日本ワヤン協会 主宰)

ダラン(人形操作):中辻正(日本ワヤン協会)

ガムラン演奏:南山エクステンション・カレッジ「ジャワ・ガムラン演奏講座」有志

ガムラン指導:風間純子(「ジャワ・ガムラン演奏講座」講師)

※実演前にガムラン演奏を行います。

※実演は、本場インドネシアで録音された音声に日本語を重ねたテープをうめます。

司会:西 紗智子(南山大学外国語学部卒)

この物語は、東部ジャワ・クディリ王国のイルランガ王(在位 1019～49年) 治下、宮廷詩人のムブ・カンワの作になる珠玉の抒情詩『アルジュノ・ウィウオホ』によるもので、今日のワヤンの演目の中でも最高に著名で魅力に富む一篇である。その内容は『マハーバーラタ』の一挿話に材をかりて、イルランガ王を案に諷めたものと評される。王を英傑アルジュノに擬し、苦行に耽るよりは現に迫りくる国難に立ち向かうことを要請したのである。

さて物語は天界の美女スプロボを手に入れようと画策する怪物ニウオトカウオチェ、その脅威にさらされる神々の協議の場にはじまる。神々は怪物の要求を拒否しつづけ、業をにやした怪物はいまにも天界へかけのぼろうとしているのだ。しかもこの怪物はかつてはそのげしい苦行によりプトロ・グルから不死身の護符を得ているのである。神々は彼には対抗しえない。かくて天界の安泰は神々によってではなく、地上の志操堅固なる武術によってでなければ保たれないのである。白羽の矢がアルジュノに立ち、インドロはその志操の固さを確認するためのかずかずの試練を課すことになる。

『ワヤンを楽しむ』松本亮 著(めこん)より

松本 亮(まつもと りょう)プロフィール

日本ワヤン協会主宰

和歌山県に生まれる。幼少年時代を通じ、熊野・那智勝浦町の海と山のはざままで亡霊のようにして、遊び夢見る。

大阪外国語大学フランス語学科卒業。

1951年、詩人金子光晴を訪ね、その没年まで親交を重ねる。

1968年、はじめてインドネシアを旅し、ワヤン上演を見る。

著書に詩集『ポケットの中の孤独』(書肆ユリイカ)、『ジャワ影絵芝居考』(誠文図書)、『ジャワ夢幻日記』(めこん)、翻訳『ワヤン・ジャワ、語り集成』(八幡山書房)など約20冊。創作ワヤン『水のおんな』『海が見たい』ほか多数を脚本・演出・出演。この5年間ワヤンの本場ジクジャ、ソロなどで、毎年招聘上演を続ける。

1998年、インドネシア共和国大統領より文化功労勲章(Satyalancana Kebudayaan)を授与される。

◆ワヤンに興味を持ったら⇒⇒⇒

「ワヤンを楽しむ」(☆)

松本亮 著 1994 めこん ISBN4-8396-0089-9

「月刊たくさんのふしぎ ノントン・ワヤン！」

松本亮 文 橋本とも子 絵 熊谷 正 写真

2009 福音館書店

「ワヤン・ジャワ、語り集成 マハーバーラタ編」

松本亮 編訳 2009 八幡山書房 ISBN978-4-904585-05-4

「ラーマヤナの夕映え」

松本亮 著 1993 八幡山書房

「マハーバーラタの蔭に」

松本亮 著 1991 八幡山書房

本日の会場で購入することができます。

☆印 南山大学名古屋図書館で利用できます。

ガムラン演奏 本日の曲目

1)「マニャル・セウ(千羽のマニャル鳥)」

2)「スルブガン〜サンパ」

◆ガムランに興味を持ったら⇒⇒⇒

南山エクステンション・カレッジ公開講座

『ジャワ・ガムラン演奏講座(入門)』春期受講受付中
講座の詳細は、お近くの講座案内で

南山大学 南山エクステンション・カレッジ

466-8673 名古屋市昭和区山里町18

Tel 052-833-6957

<http://www.nanzan-u.ac.jp/EXTENSION>